

(第2回) 国道161号小松拡幅13工区 ルート検討委員会

議事概要

1. 日 時 平成31年3月25日(月) 10:00~11:00
2. 場 所 国土交通省近畿地方整備局 滋賀国道事務所 3F 第3,4,5会議室
3. 出席者

[委員]

いしかわ 石川	しんじ 慎治	滋賀県立大学人間文化学部 准教授
いしざき 石崎	よしゆき 祥之	立命館大学経営学部 教授
おがわ 小川	けいいち 圭一	立命館大学理工学部 教授
たにぐち ◎谷口	ひろし 浩志	(社会福祉法人)しみんふくし滋賀 専務理事 ※敬称略、五十音順 ◎は委員長

4. 議 事

(1) 第2回ルート検討委員会資料

国道161号小松拡幅13工区

(2) 議事概要

<委員からの主な意見>

■第2回ルート検討委員会資料について

- ・山側バイパス案で道路構造を検討する際は、JRとの交差箇所(2箇所)に留意し、現道とバイパスが擦り付く箇所については景観にも配慮すること。
また、白鬚神社との離隔についても十分に検討すること。
- ・既存の道路を無理に活かすのではなく、最良の計画となるよう検討すること。
- ・将来的に高額な事業費が損失ではなかったということを示すために、(道路完成後の)観光入込客数やビワイチ利用者数について、フォローアップを検討すること。
- ・地元の早期完成を希望する声が非常に多いので、時間軸も意識した整備を検討すること。
- ・高齢化が進んでいる地域であることから、ランプ部の逆走対策等の安全対策についても検討すること。
- ・委員会として、対応方針(案)は妥当であることを確認した。

(3) 今後の進め方

- ・対応方針に基づいて、本日頂いたご意見も踏まえ、詳細な検討を進めて行く。
- ・今後、都市計画変更や条例に基づく環境アセスメント手続きについては、滋賀県、沿線市と協力して進めて行く予定。